

## 多摩川の水害に備えた避難行動要支援者への対応について

### 1 主旨

令和元年10月の台風第19号並みの台風による水害に備え、多摩川洪水浸水想定区域内に居住する避難行動要支援者（以下「要支援者」という）に対するこれまでの取組みと課題、今後の取組みについて報告する。

### 2 経緯

令和元年10月に発生した台風第19号の風水害被害を踏まえ、区では台風接近・通過の24時間前までに水害時避難所（第1次）を開設し、早めに避難者を受け入れるなどの新たな対策を決定した。玉川・砧両総合支所では、管内の要支援者の水害時の避難行動の実態把握と対応策を検討するため、令和2年5月末にアンケート調査を実施し、庁内の避難行動要支援者支援検討部会等において、課題の整理や対応策の検討を進めてきた。

### 3 これまでの取組みと課題

#### (1) 要支援者に配慮した水害時の避難場所の準備

アンケート調査では要支援者が大勢の区民と同じ空間で過ごすことの困難等が明らかになった。そこで水害時避難所に可能な限り要支援者用の場所を確保するなど対応した。

今後は、避難所に来る要支援者とその同伴者の総数を把握し、要支援者用に配慮した避難場所を確保し、円滑に避難できる体制の整備を図る必要がある。

#### (2) 水害時の早期避難への呼びかけ

台風に伴う水害は事前に台風の進路等が予測可能なことから、区の避難所を早期開設することとあわせ、ホテルやショートステイなどの自主避難や縁故避難、居住環境を考慮した在宅避難の検討と早期避難を呼びかけるチラシを令和2年9月に配布し周知、啓発に努めた。

今後は、水害時の避難行動を要支援者が自ら事前にシミュレーションし、具体的に行動するための情報提供が必要である。

### 4 今後の取組み

#### (1) 要支援者避難行動意向調査について

##### ① 調査概要

要支援者に対し水害時の避難先や避難時の同伴者等の避難行動に係る意向を調査する。調査により把握した避難行動の意向を踏まえ、区の水害時避難所の収容人数等から、要支援者を受け入れるための配慮された避難場所を確保するとともに、要支援者に対応するため、必要な避難所運営に係る人員等の体制を整備する。

また、調査で得た情報を活用し、今後の個別支援計画作成に向けた課題整理の参考とする。

## ② 調査対象者

多摩川洪水浸水想定区域内の要支援者 約500人

### (2) 「(仮称) 避難行動要支援者向け多摩川の水害時避難行動シート」(以下「行動シート」という) 作成について

水害時の早期避難を呼びかけるとともに個々の要支援者が自らの避難先を想定した水害時の避難行動(避難のタイミングや移動手段、持ち出し物品等)について具体的にシミュレーションできるように、要支援者向けのタイムラインや介護タクシーの連絡先等の情報も掲載した「行動シート」を作成する。この「行動シート」は個々の想定する避難行動を記入することができ、避難時に具体的に活用可能なものとする。「行動シート」は多摩川洪水浸水想定区域の要支援者をはじめ民生・児童委員や相談支援事業者等関係者に配布の上、活用いただく。

<経費> 「行動シート」作成にかかる委託料等

概算487,000円(3,000部作成予定)

### (3) 個別支援計画作成に向けた検討について

今後、災害対策基本法の改正や地域防災計画の改訂を受けて、避難行動要支援者避難支援プランの改訂が必要となる。財源措置などの国等の動向を踏まえ、新たな避難指示の基準に合わせた個別支援計画の内容を検討し、作成のスキームを構築していくことを想定している。

## 5 今後のスケジュール(予定)

令和3年 3月 要支援者避難行動意向調査実施

6月 「行動シート」配布

要支援者用避難場所の確定

令和3年度 避難行動要支援者避難支援プラン改訂検討

令和4年度 個別支援計画作成スキームの構築及び作成